

吾妻を、 もっと好きになる

～知りたい学びたい 城と陶磁器と古文書とわたし～

① 第1回

日時 令和8年 **9月10日** (木)

14:00～16:30 (受付13:30開始)

会場 長野原町住民総合センター 大ホール

住所 長野原町大字長野原1340-1

電話 0279-82-4517

講師

飯森康広 氏

(公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
調査部長)

演題

「峠を挟み込む城」

② 第2回

日時 令和8年 **10月21日** (水)

14:00～16:30 (受付13:30開始)

会場 東吾妻町中央公民館

住所 吾妻郡東吾妻町大字原町1117-1

電話 0279-68-2412

講師

秋本太郎 氏

(高崎市教育委員会文化財保護課
課長補佐兼埋蔵文化財担当係長)

演題

「土器・陶磁器から考える
戦国時代の吾妻」

③ 第3回

日時 令和8年 **11月25日** (水)

14:00～16:30 (受付13:30開始)

会場 中之条町ツインプラザ
(中之条町立中央公民館) 大会議室

住所 吾妻郡中之条町大字伊勢町1005-1

電話 0279-76-3111

講師

藤井茂樹 氏

(群馬県地域文化研究協議会副会長
沼田市歴史資料館 専門委員)

演題

「吾妻の戦国武将と子孫たちの近世
—加沢記や古文書を通して—」

参加費

 **無料**

申込期限



各回の5日前まで

定員



各回**20人**
(多ければ抽選に
なることもあります)

申込方法



二次元コードまたは
吾妻教育事務所の電話まで
0279-75-3370



申込はこちら

吾妻の歴史や文化財について、専門の先生から学べる全3回の講座です。

ぜひご参加ください。

各回講座紹介

1

1回目 演題：「峠を挟み込む城」

講師：飯森康広 氏

(公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 調査部長)

吾妻にはたくさんの城跡があります。岩櫃城や長野原城などは地域を代表する巨大城郭です。一方、各地に小規模な城砦が点在しています。

それらは地域支配の場所であると同時に、人や物の動きを見守っていました。

現代の車社会以前、人々のくらしは徒歩でつながっていました。今回は新たに発見した城砦の紹介も含みつつ、忘れ去られた道と、峠を挟み込む城について探っていきます。



2

2回目 演題：「土器・陶磁器から考える 戦国時代の吾妻」

講師：秋本太郎 氏

(高崎市教育委員会文化財保護課 課長補佐
兼埋蔵文化財担当係長)

酒宴などに使われた素焼きの皿である「かわらけ」や、土製の鍋など地元で焼かれた土器、中国から海を越えて運ばれてきた高級陶磁器、瀬戸・美濃や常滑といった今の愛知県や岐阜県からもたらされた陶器など、様々な焼き物が戦国時代の城郭から出土します。

吾妻の拠点的な城郭であった岩櫃城。この城を中心にして吾妻郡内や、さらには県内の主要な城郭で出土するこうした焼き物の出土量や組成などを比較することによって、それぞれの城郭の役割や特徴を探っていきます。



3

3回目 演題：「吾妻の戦国武将と子孫たちの近世 —加沢記や古文書を通して—」

講師：藤井茂樹 氏

(群馬県地域文化研究協議会 副会長
沼田市歴史資料館 専門委員)

戦国末期、吾妻・利根地方は、関東の要衝、沼田を手中に収めるため、上杉・武田(真田)・北条による三強の争奪戦が繰りひろげられました。信濃国から沼田への途上に位置する吾妻では、武将の多くが真田家臣となり、戦に明け暮れる人生を送ったと言っても過言ではありません。秀吉の全国統一を機に戦国の幕が下り、沼田城は真田氏に与えられましたが、一介の国衆だった真田氏の大名化を支えた主力は、吾妻の地域武将たちだったのです。

本講座では、真田氏改易後間もなく書かれた「加沢記」や「吾妻記」、古文書等から、吾妻の武将たちの活躍とその後、そして子孫たちの行く末を、沼田真田氏が背負った課題の推移に即して読み解きます。

